



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：森 雄治 幹事：松村 耕三 発行：会報・広報委員会

第 2902 例会 (30号) 2014 年 2 月 13 日 (木) 晴れ

外部卓話 SPEECH

「甲状腺検査」について

いわき保健所長

新家利一様



基礎知識として、放射線の被ばくには、外部被ばくと、内部被ばくがあります。原発事故後、スピーディーというデータが話題となりました。福島第一原発から見て、どれくらいの線量があるかという図ですが、放射性物質の中で、放射性ヨウ素によって、甲状腺がどれ位、被ばくするかと予測できます。甲状腺の等価線量というデータがあります。原発を挟んだ北と南で、子ども達がどれ位、被ばくしているかを調査しました。ほとんどは、かなり低い所に分布しています。チェルノブイリ事故と対比しますと、チェルノブイリ事故では、福島県に比べて、かなり高い被ばくをしています。

いずれにしても、甲状腺について慎重な対応が必要だということで、甲状腺の検査を県として進めています。被ばくで心配なのは癌(がん)ですが、体は細胞で出来ていますが、その中に核、そしてDNAがあります。放射線が当たると、どういう悪さをするかと言いますと、2つあります。遺伝物質の本体であるDNAに直接、放射線が当たり、切ってしまうことです。もう一つは、放射線が細胞の水を通る時に、活性酸素の親戚のような物質が出来て、DNAの鎖が切れてしまいます。遺伝子に傷が着きます。

ラッキーな場合は修復されますが、うまくいかないと、突然変異が起きて、癌になります。修復が失敗すると、細胞が死んでしまいます。細胞死が多すぎると、臓器が成り立たなくなり、機能不全に陥ります。外国の女優が乳房を切除することが話題となりましたが、遺伝子が普通と異なり、傷が付いていて、癌が出来やすいということのようでした。本来、我々の体には遺伝子に傷が付いても、直す仕組みがあるということです。放射線を浴びたからといって、すぐに癌になるのではなく、直しきれなかったり、

体の免疫などもあって癌になる可能性があるということですが、

放射性ヨウ素が事故で放出されたことで心配なのは、甲状腺の癌ですが、そこで、福島県は県民健康管理調査の一つとして甲状腺検査を行っています。目的は生涯にわたって、健康を見守ることです。対象者はゼロ歳から18歳までの約36万人です。いわき市は約6万2千人です。世界に例のない規模の調査です。甲状腺は首の前の部分にあって、10グラムから20グラムの臓器で、食物のヨウ素から甲状腺ホルモンを作ります。全身の代謝を活発にしますが、子どもは身体の成長や知的な発達に使われます。大人はこのホルモンが足りなくなると、むくみやすくなくなったりすることが知られています。

検査は超音波の一次検査があり、そこで病変があるか、ないかに分かります。仮にあった場合は病変の大きさによって、二次検査に移ります。必要があれば、その組織を取って、チェックします。

現在の進捗(しんちよく)状況は、全県で、80%は終了しています。平成24年度は、いわき市の一部地域でも実施しましたが、この時は悪性ないし悪性疑いはありませんでした。平成25年度は、いわき市は判明しているデータでは、最終的な数値は出せませんが、大きく言うと、他の市町村に比べて、特に高いとは言えません。

県全体では75例が「悪性ないし悪性疑い」がありました。チェルノブイリ事故を見ますと、甲状腺癌の原因として、事故による被ばくがあるといわれています。ある種の年齢層の人が癌になっています。年齢の低い人がしばらくして癌になっています。

甲状腺検査の今の位置づけは、今後のフォローのベースになります。いわき市の受診の状況は74~75%ですので、もっと受けてほしいと思います。チェルノブイリ事故と違って、食べ物や空気中から放射性ヨウ素を取り込む可能性は低いのですが、子どもについては慎重に対応すべきだと思いますので、もっと多くの人に検査を受けて頂きたいと思います。行政としても呼び掛けを続けていきます。

最後に申し上げたいのは、ネットなどで「今までよりも、たくさん、癌が見つかった」と言っているように見えますが、30数万人の甲状腺検査プロジェクトとして行ったことはありませんので、また、精度管理もしっかりされていますので、そのような情報に惑わされないようにしてほしいと思います。



2013~2014年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を」

Engage Rotary, Change Lives

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

◆司会：松村幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・四つのテスト（吉田義尚会員）〕



吉田義尚会員

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

いわき保健所長 新家利一様

★誕生祝



志賀弘昌さん
(2月19日)



黒須幸雄さん
(2月19日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆会長挨拶ならびに報告



先週末から大変な雪で、皆さんの中にも雪かきで節々が痛い方もいらっしゃると思います。先週、成人式の話をしてきましたが、今回も美容室について話します。今年、入ってくる18歳、19歳、20歳の方ですが、職場見学・研修が始まり、12人を採用します。震災の年には5人が内定していましたが、「3・11」で3カ月、遅らせました。その皆さんは全員、今も頑張っています。困難な状況で頑張ってくれていますが、その次の年、去年は採用が中々、難しかったのですが、退社した人もいます。今回は美容師になる方法について話したいと思います。

◆幹事報告

○郡山ロータリークラブ、いわき平中央ロータリークラブ、いわき桜ロータリークラブから会報が届きました。また、ロータリー手帳の予約を受け付けています。

委員会報告

◆出席委員会（早川孝義委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
2月13日	52名	32名	—

◆ロータリー財団委員会（山野辺倉平委員長）

山野辺倉平、志賀弘昌さん、酒井睦雄さん、松崎倫久さん、佐藤淳さん、阿部弘行さん。以上6件

◆米山記念奨学会委員会（飯野光世委員長）

飯野光世、阿部弘行さん、吉田義尚さん、山野辺倉平さん、佐藤淳さん、志賀弘昌さん。以上6件

◆親睦活動委員会（鈴木弘康副委員長）

3月9日の観梅例会の出欠報告をお願いします。

◆雑誌委員会（佐々木宏副委員長）

ロータリーの友「見どころ 読みどころ」

2月は世界理解月間で、世界の情勢が掲載されています。P 14に岩槻ロータリークラブがフィリピンを訪れたことが記され、病院の状況を紹介しています。P 19にはケニアの水の確保問題で、井戸の支援です。P 43はポリオを取り上げ、ナイジェリア、アフガニスタン、パキスタンに触れ、予防接種をすること自体が難しい状況です。P 20には、吉田会員の投稿が出ています。「絆の倍返し」がコメント付きで紹介されています。

◆スマイルボックス委員会（佐藤淳会員）

♥森雄治さん（新家所長ご多忙の中、卓話をありがとうございます。よろしくお願ひ致します）♥坂本佳友さん（新家様卓話お世話になります）♥山崎洋次さん（新家所長公務ご繁忙の中、卓話ありがとうございます）♥酒井睦雄さん（新家所長の卓話ありがとうございます）♥佐々木芳弘さん（新家様、卓話よろしくお願ひ致します）♥飯野光世さん（境内は新雪のままです。新家所長卓話よろしくお願ひ致します）♥黒須幸雄さん（誕生祝ありがとうございます）♥志賀弘昌さん（誕生祝ありがとうございます）♥阿部弘行さん（すみません。早退させていただきます）♥早川孝義さん（早退します、ごめんなさい）♥吉田義尚さん（「友」に川柳が載りました。忘れてました）♥野沢達也さん（2月15日明星大学児玉記念講堂において、復興支援ジョイントコンサートが行われます。スイス大学と磐城高校吹奏楽部のジョイントです。ちなみに私の娘も出演します）以上、12件

★本日の例会案内 2月20日(木)PM12:30～
新入会員卓話 八幡恭朗会員
お食事メニュー＝鱈(さわら)のウニソース

★次回の例会案内 2月27日(木)PM12:30～
第3回ガバナー補佐訪問
お食事メニュー＝天重